

《内容》

- ◇ 女性活躍推進法の制定から1年が経過
- ◇ 7月30日開催 パパ*ママ応援イベント★ 開催報告
- ◇ 8月23日開催 サロネーゼのための勉強会&交流会 開催報告

鹿嶋市男女共同参画推進シンボルマーク



「KASHIMA」の頭文字のKをモチーフに、男女が寄り添い、ともに明るく生きることをイメージしたものです。(平成25年公募作品)。

》》》 女性活躍推進法の制定から1年が経過

昨年4月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が施行され、1年が経過しました。法成立以降、少子高齢化と景気拡大のもとでの労働力不足の強まりや人材の多様化により競争力の強化を図りたいという企業経営上のニーズを背景に、企業などにおける様々な取り組みが広がりをを見せています。

女性活躍という言葉だけをみると、女性からは、「仕事も家事もって、もうそんなに頑張れない！」という声が聞こえてきそうですね。この法律は、バリバリ働くキャリアウーマンを増やそうということではなく、男性も含めたワーク・ライフ・バランスの見直しや女性自身の意思に基づいた働き方ができるような幅広い取り組みをしていこうとするものです。

職場における男女の差別を禁止した「男女雇用機会均等法」が施行されてから30年が経過し、その後も「育児介護休業法」や「次世代育成支援対策推進法」が施行されるなど、家庭と仕事の両立支援が進められてきました。それでも出産を機に仕事を辞めてしまう女性が減らないのは、長時間労働が可能であることなどを前提に評価されてきた“男性中心型労働慣行”や男性は外で働き、家事・育児は女性がするものといった“固定的役割分担意識”などが根強く残っていることがその要因の一つとされています。

女性活躍の推進を実質的なものとするためには、男女の働き方や意識を変えていくこと、さらには働く親を支える保育園などのインフラ整備が求められています。

次号では、女性活躍の推進で得られる企業経営上のプラスの効果についてお伝えします。

データでみる鹿嶋市の女性活躍の推進状況（平成29年4月1日現在）
◇一般職員に占める女性の割合



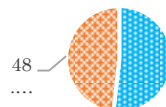
◇課長級以上の職員に占める女性の割合



◇審議会に占める女性委員の割合



ちなみに…
鹿嶋市の人口の男女の割合は？！



鹿嶋市の人口、一般職員の女性の割合はほぼ半分ですが、物事を決める場面になると、女性の割合はぐっと減りますね。このデータを見て皆さんはどのように感じましたか？

..:.:*:.:* 7月30日（日）パパ*ママ応援イベント★を開催しました ..:.:*:.:*

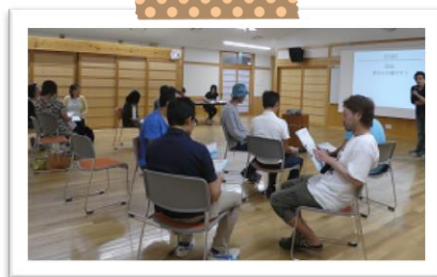
当日は、「産後クライシス*」を2人で乗り越えるための対処法を学ぶ講座のほか、子育てサークル・団体、支援機関の紹介、保健師などによる育児や子育てに関する悩み相談コーナーのほか、親子で触れ合えるワークショップやベビー・キッズ雑貨の販売などのマルシェを行いました。たくさんのパパにもご来場いただきました！

》》 プレパパ*プレママ講座 講師 渡邊 大地さん（株）アイナロハ

『2人でつくる産後のHAPPY☆ライフ』～結婚生活最大の危機は産後にあり?!～

～コミュニケーションが大切。夫婦会議をしよう!～

意外とよくわかっていない、“妊娠・出産がママに及ぼす身体への影響”“ママがしてほしいと思っていることとパパが良かれと思っていることは実はずれている?!”など、ワークを通してお話いただきました。それぞれの夫婦がお互いの考えを言い合える、一緒に考えることができる関係になることが大切です。今からでも遅くない、さあ、今夜は夫婦会議をしましょう！



》》プレパパ*プレママ講座の様子



》》リトミック体験会の様子

》》ベビーマッサージ体験会の様子

《参加者の声》

夫婦の溝は大きい、夫（自分）が知らない事が多い事がわかった。知る事で、できる事もある事がわかった/夫婦で前もって話し合っておくべきことを詳しく教えていただき、大変参考になった。出産に向けて、考えていないことが多いことに気付かされた/自分の父母のころ（の夫婦関係）と現在は大きく違うと感じた。

*産後クライシス…産後2年以内に夫婦（特に女性側）の愛情が急速に冷え込んでしまう状態のこと。

～研究しましょう！愛され*サロンの作り方～ 『人気サロネーゼが そつと 教える成功の秘訣』

自宅などの一室で、「好きなこと」「得意なこと」を仕事にして、自分のライフスタイルに合わせて働ける“サロネーゼ（おうち起業）”は、女性の働き方の一つとして注目されています。一方で実際に始めて見たけれど、「思ったように人が集まらない…」「経理から宣伝活動からすべてを一人でこなさなければならない」などの悩みや不安が付きません。茨城県よろず支援拠点 チーフコーディネーター宮田 貞夫 さんをコーディネーターに、県内の人気サロネーゼから成功の秘訣を伺いました。その後、人気サロネーゼを囲んで交流会を開催しました。

2014年に地元の商工会議所が主催する創業支援セミナーに参加し、翌年第1回全国創業スクール選手権（ビジネスプランコンテスト）にチャレンジし、ファイナリスト8名に選ばれました。チャレンジを通して、具体的にビジネスプランを書いてみることで、それをほかの人に話すということは、自分の頭の中を整理するよい機会になりました。たとえお教室が少人数からのスタートでも、やりながら学び、恐れず、気負わず、ゆるゆる続けていくことが大切です。どこにビジネスチャンスが転がっているかはわかりません。私は、海外の旅先で出会った縁がビジネスにつながりました。飛び込む勇気といつでもスタンバっていること（名刺やパンフレットなどを持ち歩く）、ぜひ実践してみてください。



☆和装美コーディネーター 岩田 晶子 さん



☆メディカルヨガ講師 横山 みつこ さん

お客様お一人おひとりの名前を覚えて、個人的なつながりを持つことを大切にしています。ブログやSNSを活用して、日常生活からヨガのこと、失敗談なんかも織り交ぜながら、ほぼ毎日自分の声を発信することを心がけています。ポイントは共感してもらえるような記事をあげることで、多い時にはアクセス数が600～800件にもなります。私は、母の病をきっかけに、代替医療に興味を持ち、ヨガ講師になりました。学びを重ねる中で、海外の代替医療にも興味を持ち、それらのコミュニティに参加することで、海外にも活動の場を広げることができました。

鹿嶋の隣は海外です！ここまでとってしまったらそれで終わりです。自分の限界は自分で決めないで、様々なことにチャレンジしてください。

私自身が妊娠中に、腰痛や肩こりに悩まされたことがきっかけで、マタニティセラピストを目指しました。妊娠中は特に、男性施術者に触れられることに抵抗を感じる女性は少なくないと思います。妊産婦さんにターゲットを絞り、出張プランを設けるなど、利用していただきやすい環境づくりを実践しています。ただ単に整体を施術するだけではなく、お一人おひとりのライフスタイルを伺い、生活習慣の見直しを提案するなど、疲れにくい体作りも提案しています。妊産婦を対象とした専門の整体サロンは、県内にまだ少ないですが、将来を見据えて、保育士だった経験を生かした商品開発やイベントの開催などにトライしていきたいです。まだまだ私も未熟ですので、サロネーゼのみなさんと一緒に向上していけたらと思っています。



☆マタニティセラピスト 大川 桃子 さん



☆全体コーディネーター 宮田 貞夫 さん

サロネーゼとして成功するための3つのポイント、これはビジネスの基本でもありますが、一つは、「自分流を見つけること」…自分の思いや興味、強みから、相手が興味を持ってくれるような独自性を持つこと、もう一つは「ネットワークづくり」…成功する人はネットワーク作りがとても上手です。いいなと思う人にコンタクトが取れる関係をつくるのが大きな強みになります。最後の一つは、「ITの活用」です。ブログやインスタグラムなどのSNSは、コストが低く、かつ効果的に営業をすることができます。その時その時にあった情報を発信しつづけること、常に声を届ける営業力、ぜひ実践してください。茨城県よろず支援拠点は、国が設置する無料の経営相談所です。「何からはじめたらいいかわからない」から、「開業したけど思ったように収益につながらない」、「ホームページはどうしたらいいの？」など様々な相談に応じています。気軽にご相談ください。

《参加者の声》

Five colorful speech bubbles containing feedback from participants. The first bubble (green) says: 'すぐにでもできることがたくさんありました。今後もこのような企画を継続してほしいです' (I found many things I can do right away. I hope such programs will continue). The second bubble (pink) says: '商工会やよろず支援拠点について、あまりよく知りませんでしたが、気軽に利用できることがわかりました' (I didn't know much about the Chamber of Commerce or the support center, but I found it easy to use). The third bubble (blue) says: '私は、海外に挑戦したいと思っています。鹿嶋の隣は海外！いつでもスタンバっていることを実践していきたいです' (I want to challenge myself overseas. The neighbor of Kamishima is overseas! I want to practice being ready at any time). The fourth bubble (purple) says: '自分らしさのある教室作りをして、ファンを増やしていきたいです' (I want to create a classroom with my own style and increase my fans). The fifth bubble (orange) says: '今日できたつながりを大切に、今後の活動にいかしていきたいです' (I will treasure the connections made today and use them for future activities).